

(様式1)

# 自己評価表

愛媛県立今治西高等学校定時制

学校番号 14

教育方針	知・徳・体の調和のとれた健全な心身の発達を目指し、個性豊かな人間の育成を期する。	重点目標	1 温かい人間性と豊かな社会性を身に付けさせる。 2 高い知性と豊かな創造性を養う。 3 強い意志とたくましい体力を培う。
------	--	------	---

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
学習指導	教科指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の実態に応じて分かりやすい授業を実践し、授業満足度・理解度を85%以上とする。            A: 85%以上 B: 84~82%            C: 81%~79% D: 78~76%            E: 75%以下</li> <li>ICT機器を積極的に使用するなど授業改善を行う。</li> </ul>	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒アンケートでは、授業に満足している生徒は80%、授業が理解できると答えた生徒は78%、積極的に授業に参加できている生徒が82%となっている。昨年度に比べ、微減となった。</li> <li>教科の特性と少人数授業の実態に合わせて、一人一台端末の積極的活用を推奨、一部でオンライン授業も実施できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年、年度によって生徒の習熟度や特性が全く異なるため、それぞれに合わせた授業や課題を研究する。</li> <li>学業（授業を含む）の達成感や充実感を抱ける機会を積極的に提供する。</li> <li>一人一台端末を活用する場を、横断的な視点に立って増やしていく。</li> </ul>
	個別学習指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>習熟度・進路希望に応じて0限を利用した個別指導を行う。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>0限で学ぶ生徒は本年度3名で、学年をまたいでいる点でも効果を上げている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路に応じた指導を徹底し、個々の学力を伸ばす。</li> </ul>
生徒指導	規範意識と基本的な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間出席率95%以上、皆勤率75%以上を目指す。            A: 95%以上 : 75%以上            B: 94~92% : 74~72%            C: 91~89% : 71~69%            D: 88~86% : 68~66%            E: 85%以下 : 65%以下</li> <li>遅刻・欠席など、保護者との連絡を徹底する。</li> <li>交通事故・交通違反ゼロを目指す。</li> </ul>	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>1月までの出席率は87%、皆勤率は74%である。休学生徒（1名）、一部の不登校傾向のある生徒、遅刻など基本的な生活習慣の身に付いていない生徒の存在が原因と思われる。ただ、本年度、出席停止や定期考査時の別室受験でのルール明確化は効果があった。</li> <li>一部の生徒は、本人・保護者との連絡がとりづらい。</li> <li>交通事故・交通違反はゼロであった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で生活を管理して、欠席や遅刻を減らすこと、連絡や報告を事前に確実に行うこと、締切の遵守や挨拶など、基本的な生活習慣を身に付けることが学びの礎になることを、教員と生徒の共通認識とする。</li> <li>保護者マチコミ登録率100%をめざす。</li> <li>自転車利用時のヘルメット着用率100%をめざす。また、自動二輪車・自動車の安全指導を確実に行う。</li> </ul>
	学業と就業の両立支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別面談を年間6回以上行う。生徒の状況に応じて、個別に話す場を設定する。            A: 6回以上 B: 5回 C: 4回            D: 3回 E: 2回以下</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>担任による個人面談の時間として年3回設定されているが、担任以外の教員にも生徒が気軽に相談できる雰囲気作りができています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在は教員間で補い合う体制がとれているが、生徒の多様化により抱える問題も一層複雑化・深刻化している。教育相談の質とスキルの向上に努める。</li> </ul>
	学校行事・部活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事の役割分担を明確にして、生徒全員が主体的に参加する環境を作る。</li> <li>四国大会・全国大会への出場を目指して積極的に部活動に取り組ませる。</li> </ul>	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>中止・縮小された学校行事や、生徒の不参加もあったが、工夫をして行った。部活動については、全国大会を辞退、県総体は不参加であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事においては、臨機応変に工夫して行うという姿勢が教員にも生徒にも定着したが、部活動の低迷が著しい。環境改善は難しく、抜本的改革が必要。</li> </ul>
進路指導	進学・就職指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>全員の希望する進路実現を目指す。</li> <li>三修制を選択した生徒の進路指導を効果的に行う。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>本年度の4年生は、年度当初希望していた進路を実現することができた。三修制選択の卒業生も同様である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経済的問題や家庭環境の問題もあり、積極的に就職・進学をめざせる生徒が少ない。まず、保護者の理解に一層努める。</li> </ul>
業務改善	職場環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務の効率化のために、業務の連携と引継を計画的に行い、コミュニケーションの活性化を図る。</li> <li>教職員の勤務時間・休憩時間を守る。</li> </ul>	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒も教員集団も少人数であるため、臨機応変に対応できている。</li> <li>勤務時間に対する意識は高く、時間外労働に関する問題はない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の人数が減少し、年度によって気質が異なるため、教員と生徒との関わり方も変えていく。</li> <li>業務の効率化と改善には、各教員が課題に対して意識を高く持つ。</li> </ul>

※評価は5段階(A:十分な成果があった B:かなりの成果があった C:一応の成果があった D:あまり成果がなかった E:成果がなかった)とする。